

建設産業対策の取り組みについて

島根県土木部建設産業対策室

「当面の雇用対策及び建設産業対策の方針」に基づき、公共事業の大幅削減による建設産業への影響を鑑み、土木部として平成15～18年度の4年間、積極的・集中的に建設産業支援策を実施する。

(1) 平成18年度予算要求について

予算編成の基本的考え方

H17年度当初予算編成における財政改革努力の結果、構造的な収支不足は200億円台半ばまで圧縮
ただし、現状のままでは、平成20年度にも基金残高が枯渇する恐れがあることから、H18年度予算編成では、「中期財政改革基本方針」に従い100億円程度の更なる収支改善目標を設定
このため、「施策の選択と集中」をこれまで以上に徹底
「歳出全般にわたる事業の徹底した見直し」
「本県の将来を見据えた事業の展開や当面の緊急課題への対応」

公共事業予算要求状況

島根県の平成18年度当初予算要求額は職員給与を除き前年度当初比6.1%減の4,022億円、公共事業費は補助、県単合わせ、土木部569億81百万円、16.8%の減、農林水産部252億35百万円、20.1%の減となっている。
直轄事業、災害復旧費を合わせた公共事業費合計では、1,108億65百万円で13.3%の減となっている。

(2) 建設産業対策のこれまでの取組状況

経営合理化・経営基盤強化

- ・「経営革新セミナー」や「研修会」の開催。
- ・県内すべての商工会議所・商工会への総合相談窓口の開設。
- ・経営革新モデル事業の実施。

企業合併・企業連携の推進

- ・建設技術者を引き続き雇用した場合の事業主に対しての助成金交付。
- ・格付け点数の上乗せや合併前と同等の指名機会の確保。

経営の多角化・新分野進出支援

- ・事業化、市場化の可能性調査や研究等の経費の一部助成。
- ・新分野進出セミナー等の開催。
- ・新分野進出事例のパンフレットの作成。

公共工事執行にあたっての県内業者への優先発注

- ・県内業者の優先指名、下請業者の県内業者優先の要請、県内産資材・県内企業から調達した資材の優先使用の徹底。

(3) 建設産業対策の実績及び成果

建設産業構造改善の指針策定・・・構造改善指針の説明会、県内7箇所、約800名参加

経営革新セミナー等・・・開催回数14回、参加人数814名

総合相談件数・・・窓口相談数(476社)、企業訪問数(214社)(H17.9末現在)

企業合併・企業連携

合併支援助成金・・・交付7件、11人
合併優遇措置申請・・・H15(12件)、H16(11件)、H17(2件、11月末現在)

新分野進出の取り組み

新分野進出事例(H17.11月末現在)
・・・108社が農業関係や環境リサイクル等に取り組む。
新分野進出助成金申請件数(土木部所管)
・・・H15(4件)、H16(14件)、H17(38件、11月末現在)
(事業化・・・12件、事業化に向けて検討中・・・37件、断念、不明・・・7件)

県内業者優先指名・・・県内業者受注 件数95.7%、受注金額81.3%(H16実績)

(4) 今後の課題と取り組み

公共事業費は今後も現下の財政状況及び、市町村合併による需要の終息等によりさらなる減少が見込まれるため、今後も引き続き意欲ある建設業者に対し経営基盤強化、経営革新等の建設産業対策に取り組む。
今後の課題と取り組みについて、具体的に平成18年度当初予算に要求しているが、現時点で明らかにできないので、決定次第周知していきたい。

経営合理化・基盤強化

- ・経営状況の悪化
- ・経営革新の意識改革
- ・地域経済の維持

(今後の主要な取り組み)

経営革新支援の強化

企業合併・企業連携

- ・経営基盤強化の手段
- ・適正企業数の形成
- ・合併意識の醸成

建設業の再編促進

多角化・新分野進出

- ・初期投資への支援要望
- ・地域雇用の確保
- ・民需、市場開拓

新分野進出への支援の拡大

公共事業執行に当たっての県内業者への優先発注

- ・地域経済の発展
- ・地域雇用の確保

国の直轄事業についての地元業者への優先発注要請

(5) 入札制度改革

全国的に問題となった鋼鉄製橋梁メーカーによる談合事件を契機として、本県においても昨年10月から工事内訳書の重点調査、指名競争参加者の事後公表の試行を始めたところである。

今後更なる競争性の向上、「品確法」に基づく品質の確保を柱として、入札制度の改革を進めていく。
具体的には、一般競争入札の拡大、総合評価落札方式の試行の拡大、有資格者名簿登録資格要件、個別工事に求められる資格要件等の検討を行い、本年四月実施を目指し、建設業の健全な発展を促進する。

平成16年度施工 島根県優良建設工事知事表彰

部 門	工 事 名	施工業者	現場代理人
道 路	国道431号 修理免工区 特定交通安全工事	(有) 間 壁 組	飯 塚 寿 雄
建 築	県営住宅出雲市今市団地 建築工事	御船組・浜村建設 特別共同企業体	湯 原 正 明
農 業 土 木	平成16年度 若宮地区 水田農業経営確立排水対策特別事業 排水路(その1)工事	(株) 広 戸 組	山 根 英 二
	平成16年度 求院地区 経営体育成基盤整備事業 暗渠排水工事	(有) 藤 木 組	青 木 和 正
森 林 土 木	平成15年度 林道開設事業(森林管理道) 宮本聖谷線 第1工区工事	(株) 安 井 組	高 野 輝 久

平成16年度施工 優良農林土木工事所長表彰

【出雲農林振興センター】

部 門	工 事 名	施工業者	現場代理人
土 地 改 良	平成16年度 若宮地区 水田農業経営確立排水対策特別事業 排水路(その1)工事	(株) 広 戸 組	山 根 英 二
	平成16年度 求院地区 経営体育成基盤整備事業 暗渠排水工事	(有) 藤 木 組	青 木 和 正
	平成16年度 金山地区 経営体育成基盤整備事業 舗装(その2)工事	山 口 建 設 (株)	肥 田 義 弘
	平成15年度 中鞍地区 ため池等整備事業 堤体工その2工事	(有) 斐 川 建 設	錦 織 正 志
農 林 地 防 災	平成16年度 斐川地区(下畑第一工区) 地すべり対策事業 抑止工事	出雲グリーン(株)	森 島 堅 太 郎
森 林 土 木	平成15年度 林道開設事業(森林管理道) 宮本聖谷線 第1工区工事	(株) 安 井 組	高 野 輝 久
	平成16年度 復旧治山事業(大呂神社)	(株)イマジン商会	杉 山 実 利

平成16年度施工 優良建設工事表彰 ◆ 所長表彰 ◆

【出雲土木建築事務所】

部 門	工 事 名	施工業者	現場代理人
道 路	佐田小田(停)線 小田工区 新世紀道路(生活関連)工事	(株) 安 井 組	塚 田 淳 也
	斐川一畑大社線 小伊津工区 交B(改良)小伊津トンネル(仮称)工事	(株) フ ク ダ	片 寄 洋 二
	出雲大社線 渡橋工区 緊急地方道路(電線共同溝)工事	(株) 中 筋 組	柳 楽 廣
	三刀屋佐田線 反辺工区 新世紀道路(改良)工事(第1期)	(有) 三 原 組	寄 貞 隆 夫
河 川	新内藤川 床上浸水対策特別緊急工事 第5工区(矢野第2揚水機場)	グリーン建設(株)	大 谷 和 雄
	平田船川 床上浸水対策特別緊急工事 新藪橋取付道路工	昭和開発工業(株)	原 敏 行
都 市 計 画	浜山公園 都市公園事業 少年野球場施設工事	(株) 中 筋 組	今 若 博 充

平成16年度施工 優良建設工事表彰 ◆ 主任技術者表彰 ◆

部 門	工 事 名	施工業者	現場代理人
道 路	国道431号 修理免工区 特定交通安全工事	(有) 間 壁 組	飯 塚 寿 雄
	木次直江(停)線 神水工区 改築(改良)工事 第2期	(株) フ ク ダ	遠 藤 幹 雄
	松江平田自転車道線 美野工区 大規模自転車道整備工事	一 畑 工 業 (株)	梅 木 久 夫
	国道184号 八幡原工区 特定交通安全工事	(株) 土 井 豆 組	首 藤 定 美
	国道184号 道路維持修繕工事	今 岡 工 業 (株)	福 原 伸 一
港 湾	湊原海岸 海岸災害復旧工事	(株) 中 筋 組	岡 学
砂 防	阿式谷川 通常砂防工事	(有) 間 壁 組	野々村 達郎
都 市 計 画	浜山公園 都市公園事業(宝くじ) 少年野球場施設工事	(株) 中 筋 組	安 部 潮
建 築	旧総合看護学院 建物解体撤去(A工区)工事	大 福 工 業 (株)	岡 田 勉
	旧総合看護学院 建物解体撤去(B工区)工事	出 雲 土 建 (株)	石 川 謙 二



島根県優良建設工事表彰を受賞して

(有)藤木組
求院地区 経営体育成基盤整備事業
暗渠排水工事
現場代理人 青木和正

平成16年度求院地区経営体育成基盤整備事業暗渠排水工事において、優良建設工事知事表彰を頂き、大変嬉しく思っております。また、本工事は完了してしまいますと工事の内容が目に見えない工事であるだけに、このような評価を受けたことは工事に携わったものとしてこの上なき光栄でございます。

さて、思い起こしますと、暗渠排水の被覆材に使用すれんが米の販売不振からJAでの調達困難になり、工程が立たないという状態からのスタートでした。幸いにも農林振興センター、改良区、農業公社、地元の皆様など多くの方々の協力を得まして、少しずつではありますがれんが確保できるようになり、確保できた分づつ作業を進めるという状況でした。本格的に作業ができるようになったのは、JAかられんがが入ってきた1月頃からです。また本現場は砂質土で、それを連続的に掘削して行く掘削機(トレンチャー)の掘削部分が想像以上の速さで磨耗(掘削幅の品質管理にも関係する)していき、三日作業をすると修理をする、この繰り返しと、天候との戦いに苦労しました。しかし、以前は専門業者をお願いしていた掘削作業も、数年前に掘削機(トレンチャー)を導入し自社で掘削をするようになったことでオペレーターの技術も上達し、転作後の凸凹田面でも掘削深が安定するようになり、品質管理上は満足のいく結果が得られたと思います。

今までは場整備、道路工事等携わってまいりましたが、工事後地元の方から、「あの道路、川、橋など出来てほんとに便利になり住みやすくなった」、また本工事では、「転作作物を作るのに大変良くなった」などと聞くと大変うれしく思ったものでした。さらにこの様な賞を受けたことは、社を挙げての喜びと誇りであります。この受賞を励みにより一層の努力を惜しまないよう頑張りたいと思います。

最後に、ひとつの工事を無災害で完成するに当たってさまざまな方の御協力御指導あつての賜物と、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



島根県優良建設工事表彰を受賞して

(株)安井組
林道開設事業(森林管理道)
宮本聖谷線 第1工区工事
現場代理人 高野輝久

私自身平成5年に一度この賞を頂いておりますが、当時は社内でも私が若年層で諸先輩方に叱咤激励されながらガムシャラに工事をやり遂げた事が思い出されます。今回に至っては私が中堅どころで、ガムシャラにやるというわけにはいかず当時より安全が一層求められる時代に、この優良建設工事知事表彰を頂く事が出来たのは、私自身大きな自信となり今後現場管理をしていく上での励みにつながり大変光栄に思っております。

この工事においては、切土工は1:0.8分で法長最大20m1枚法でなお法尻いっばいにL型側溝を設置し間伐材パネルにて防草対策するよう計画してある中で、間伐材パネルの出来栄え=切土工の出来栄えと考え、重機オペレーターと検討したところ、通常より密に測量を実施する事で意見が一致し、たびたびトランシットにて確認しながら進めた結果、法尻での切土出来形が0~+50mmの範囲に収まり間伐材パネルと側溝が一体となり満足できる施工につながりました。

現地破碎チップ工に関しては、抜根材の集積及び検収・破碎を行う際、有る程度の施工ヤードが必要でしたが、現場は狭い山道(W=1~2m程度)のため現場内での施工を断念し、近隣の関係者の方に事情を説明したところ、場外の雑種地を借地する事が出来たお蔭で他の工種との並行作業も可能になり、関係者には大変感謝しております。

補強土壁工の施工時期に天候不順が多く盛土材の品質確保の為、盛土材及び補強土壁部にシートを張って雨対策をした事が功を奏し、現場密度も良好で工程的にも順調に推移した事は各作業員の心がけだと、大変感謝しております。

1つの現場を竣工まで持って行く為には、1人の力では到底出来る事では無く、発注者・工事関係者・上司・現場スタッフの皆様の協力があつてこそ竣工までたどり着けることを、工事を行う度に痛感しています。今後もこの気持ちを忘れずに現場管理を行なっていきたいと思っております。

